

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	国際協カイニシアティブ		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	大臣官房国際課		担当課室	国際課国際協力政策室		国際協力政策室長 浅井 孝司
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国際教育協力懇談会報告2006「大学発 知のODA ~知的国際貢献に向けて~」		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	□我が国の大学教員等がこれまでの教育・研究の中で得た専門知識や経験をまとめて、開発途上国の現場で国際協力を携わる人々に役立つ教材等を作成することで、開発途上国が直面する貧困、感染症、災害、環境などの課題への対応に貢献する。また、こうした取組を通じて、大学における国際協力活動の企画・実施を担当する人材の発掘・育成に努めるとともに、学生を参加させることで、学生に国際的な視野を身に付けさせるなど、より多くの日本の大学が国際協力的分野に参画することを支援する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	□上記目的を達成するため、例えば、医師不在の地域で、子どもの健康管理や学習環境の整備に取り組む教員を養成する目的で、高価な機材や専門知識なしに実施可能な身体測定の方法や学校保健の考え方をまとめたマニュアルを作成するなど、大学教員等の専門知識や経験を活かした成果物を作成する。また、これらの成果物を電子情報化して専用HPで公開し、開発途上国の現場で活用できるようにする。 □さらに、一連の活動を円滑に実施するための調査・広報・報告会の開催などの支援業務や情報提供を行う。					
実施状況	□平成21年度採択案件数 25件 【内訳】：『国際協カイニシアティブ』(委託事業)採択案件 23件 ：一連の活動を円滑に実施するための調査・広報・報告会の開催等支援事業 1件 ：APEC等国際的なネットワークにおける教育協力に関する調査研究事業 1件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	183	179	171	107	0
	執行額	175	174	161		
	執行率	95.63%	97.21%	94.15%		
	総事業費(執行ベース)	175	174	161		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	□委託契約締結前の打ち合わせ、中間報告、事業終了後の会計実地調査などを通じて、関係者から報告を受けている。これらに加え、活動報告書、成果物を通じて事業の進捗状況を把握している。 □また、年度末には、委託事業の活動について公開の場で発表する「国内報告会」を開催している。 □委託事業の成果物をHPで公開するとともに、HPの参照件数や関心の高いコンテンツについて確認を行っている。				
	見直しの余地	□カリキュラム、テキスト、マニュアル、教材などの成果物を公開しているHPは、現在、一ヶ月平均で25,000~30,000件のアクセス数があることを確認しているが、利用者がどのように活用しているかについては把握できていない。そこで、今後はHP上で利用者へのアンケートを実施することで、成果物の具体的な活用方法を把握し、既存のものに改善を加えた成果物や新たな分野の成果物の作成に取り組む大学等を選定する。				
予算・監理の効率化	1. 事業評価の観点：この事業は、開発途上国の現場で国際協力を携わる人々に役立つ教材等を作成し、現場で活用できるようにすることを目的として行うモデル事業である。本事業は、「公開プロセス」の対象となった事業である。 2. 所見：本事業は、「公開プロセス」での「事業の目的、外交戦略上の位置付け、相手国の要請の的確な把握などについて不明確・不十分な点が多いことから、文科省としてこれらの考え方を明確にすべき等により廃止」との評価結果を踏まえ、廃止すべきである。					
補記						

国際協カイニシアティブ

文部科学省
161百万円

非常勤職員手当	4百万円	} を含む
政府開発援助諸謝金	1百万円	
開発援助職員旅費	1百万円	
政府開発援助委員等旅費	0百万円	
政府開発援助庁費	1百万円	

【公募・委託】

A. 国際協カイニシアティブ
委託事業:121百万円
(国公立大学・教育関係
者等19機関)

大学等の専門知識や経験を活用して国際協カに役立つテキスト・教材等を作成する

【一般競争入札・委託】

B. 国際開発協カサポート
センター・プロジェクト業務
支援:27百万円
社団法人科学技術国際交
流センター

調査・広報・報告会など国際協カ
イニシアティブの支援業務

【一般競争入札・委託】

C. APEC等国際的な
ネットワークにおける教
育協カに関する調査研
究事業:6百万円
東京工業大学

アジア・太平洋地域動向に関
する情報提供

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.名古屋大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員等賃金	2			
旅費	国内旅費、外国旅費	10			
その他	借料損料、印刷製本費、図書購入費、通信運搬費、消耗品費、雑役務費	2			
一般管理費		2			
計		16	計		0
B.社団法人科学技術国際交流センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員等賃金	8			
雑役務費	雑役務費	7			
旅費	旅費	5			
その他	謝金、借料損料、消耗品費、会議費、通信運搬費、消費税相当額	6			
一般管理費		1			
計		27	計		0
C.東京工業大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	国内旅費、外国旅費	5			
その他	消耗品費、印刷製本費、一般管理費	1			
計		6	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A:国際協カイニシアティブ委託事業

	支出先	支出額(百万円)
1	名古屋大学	16
2	宮城教育大学	13
3	筑波大学	9
4	大妻女子大学	9
5	三重大学	6
6	国際基督教大学	6
7	愛知教育大学	6
8	横浜国立大学	5
9	北海道教育大学	5
10	愛知県立大学	5
	その他9大学等	41
合 計		121